

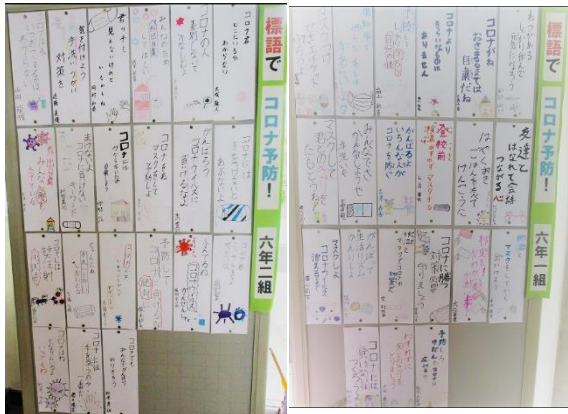
ひょうたんいけ

桜台小 学校だより
令和2年7月21日
第13号



毎朝1年生が、登校してすぐにペットボトルに水を満たして、自分のあさがおの植木鉢に向かっていく姿が見られています。心待ちにしていた花が、7/13の週からポツポツ咲き始めました。夏に向かって季節が進んでいることを実感しました。いくつ花が咲くのか、楽しみですね。

標語を作って、コロナに負けないぞ！



新型コロナウイルス感染症に「うつらない、うつさない」ために、「マスク着用」「手洗い・うがい」など様々な取り組みを進めてきました。

6年生が考えた「標語でコロナ予防！」の取り組みを児童玄関に掲示してくれました。自分たちにできることを考え、行動につなげることは大切なことです。さすが、学校のリーダー6年生。

「マスクしよ コロナウイルス 消えるまで」
「友達とはなれて会話 つながる心」
「がんばろう コロナウイルスに まけるなよ」
「コロナでも みんなでがんばり のりきろう」

5年生の「家庭科」「図工科」「理科」の様子



5年生の授業を紹介します。写真は、左から家庭科「さいほう」、図工科「自分の名前で作るデザイン」、理科「かぼちゃの花の観察」の様子です。

家庭科は、5年生から始まる教科です。この時間は、裁縫で並ぬいと玉止めに取り組んでいました。針の穴に糸を通すことから四苦八苦していました。それから、順調に並ぬいを進め、最後は玉止めです。目立たない大きさの玉で止めるのが理想なのですが、なかなか適当な大きさの玉止めができず一苦労。でも、子どもたちはあきらめず、とても集中して取り組むことができていました。

図工科の作品は、よく見ると作品の中に「自分の名前」がひらがなで描かれていることに気づきます。ひらがなの、直線や曲線、線の交わり具合などを生かして、デザイン画を完成させました。

理科の「かぼちゃの花の観察」の授業は、臨時休業の間、子どもたちの代わりに先生が世話をしていたかぼちゃを使っての学習です。この日は、おしべとめしべの観察でした。本とか写真とかで知ることはできますが、自分の目で確かめることは何にもまして貴重な経験です。

校舎からのぞく目は誰だ！！



ある日体育館への渡り廊下を歩いていると、誰かの視線を感じました。北校舎を見上げると大きな顔があり、あまりの大きさに腰が引けてしまいました。

実は、6年生が社会科で学習した奈良の大仏の大きさを再現するために作ったようです。校舎の中には、顔の他に手の平も掲示されていました。ちなみに頭のぼつぼつは「らぼつ」とよび、966個あるそうです。（文責 矢田 〇〇）

お知らせ：個別懇談会の日程調整にご協力いただきましてありがとうございます。お子様の1学期の様子から、評価をさせていただきました。当日までに、裏面の「小学校の連絡表（通知表）」が新しくなります！」をご一読いただくと助かります。